



れんごう栃木

発行人 吉成 剛
編集人 川中子 伸之
〒320-0052 宇都宮市中戸祭町821
栃木県労働者福祉センター内3F
TEL 028 (650) 5555
FAX 028 (650) 5566
メール :info@tochigi.jtuc-rengo.jp
URL:https://rengo-tochigi.or.jp/

●年頭挨拶●2022春闘方針概要●青年委員会・女性委員会総会●2022連合アクション●暮らしに関するアンケート



日本労働組合総連合会栃木県連合会
会長 吉成 剛

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、構成組織・地域協議会、議員懇談会や、友誼団体関係の皆様には、連合栃木の運動に対し、深いご理解とご協力を賜り、心より感謝を申し上げます。

さて、コロナ禍の影響は多くの働く仲間とその家族を直撃し、雇用と賃金・労働条件が脅かされ続けています。一方で、社会的セーフティネットの脆弱性もより浮き彫りになりました。とりわけ、パート・有期・派遣契約、フリーランスなどの形態で働く人や女性、外国人、学生など多くの仲間が困難な状況に立たされています。連合が最優先で取り組むべきは、コロナ禍で生活が困窮している人への支援であり、支援が必要な方々へのさらなる緊急支援体制の再構築や生活困窮者に対する居住・生活支援の一層の強化について、引き続き求めていかなければなりません。

このような状況下で行われる2022春季生活闘争については、労使がともに自らの企業の状況や雇用・労働のあり方について、まずは現状を認識し、その上で5年後10年後の未来の姿を描き、そこに到達する道筋を考えいくことを通してこそ未来はつくられる、との思いから「未来づくり春闘」を掲げています。新型コロナウイルスの状況や原油等の価格

の急騰、円安の進行など、状況は不透明です。だからこそ、労働組合から「**未来をつくる。みんなでつくる。**」春闘に取り組んでまいります。

政治の情勢ですが、昨年行われた第49回衆議院選挙では、引き続き与党が国会の圧倒的多数を占めるという結果となり、連合の描く2大政党体制の実現には至りませんでした。目下の課題はコロナ対策で、傷んだ国民生活や経済の立て直しが急務であることは言うまでもありません。与野党ともに国民の声に真摯に耳を傾け、中長期的な課題として、成長や分配だけではなく、いかに負担を分かち合うかも含めた建設的な政策論争が行われることを期待しています。

本年も労働諸条件改善の取り組みと政策制度実現の取り組みを運動の両輪と位置付け、推薦議員との連携強化、行政や政党等への要請行動に引き続き取り組んでまいります。コロナ禍の難局にある今こそ、働く仲間に寄り添い「**必ずそばにいる存在**」としての労働組合の真価が問われています。私たちが実現しなければならないのは、新しい時代に於けるすべての働く仲間・生活者の命とくらし、雇用をまもり、持続可能で包摂的な「**働くことを軸とする安心社会**」を、実現することです。皆様のご支援とご協力をお願いします。

結びに、皆様にとりまして、素晴らしい1年となることをご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

*1日光東照宮にある五重塔の四方には三体ずつ十二支の動物たちが描かれており、正面の虎、兔、龍の彫刻は、それぞれ家康、秀忠、家光の干支を表している。ちなみに東京スカイツリーの制震構造はこの五重塔を応用している。【写真提供:栃木県労働者福祉センター・大塚昇さん】



連合 2022 春季生活闘争方針（一部抜粋）

2022 春闘は、昨年に引き続きコロナ禍の取り組みとなる。一方で、21 年度末にはコロナ前の GDP 水準をほぼ回復し、22 年度には超えることが見込まれる。連合は 2022 春闘方針で、今こそ、働く仲間の力を結集し現状を動かしていくべきときとし、「未来づくり春闘」を展開し、労働組合が社会・経済の構造的な問題解決をはかる「けん引役」を果たすことを掲げる。

2022 春季生活闘争の意義と基本スタンス

勤労者家計は長期にわたり低迷し、コロナ禍で我慢を強いられている。有期・短時間・契約等労働者などが深刻な影響を受けている。経営基盤の弱い中小企業やコロナ禍の影響が大きい産業で働く労働者に厳しい状況にある。とりわけ、非正規雇用の約 7 割を占める女性労働者の雇用の不安定さや生活面への影響が大きい。

今こそ、「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けて、働く仲間の力を結集し現状を動かしていくべき時である。それは主体的に未来をつくりていく労働運動の社会的責任である。経済の後追いではなく、経済・社会の活力の原動力となる「人への投資」を積極的に求める「未来づくり春闘」を展開していく。

2022 春季生活闘争においては、①賃上げ、②働き方の改善、③政策・制度の取り組みを 3 本柱として、感染症対策をはかりながら景気を決定的に回復させつつ、中長期的に分配構造を転換していく。国内外の経済下振れリスクがある中で、こうした「人への投資」を積極的に行うことこそ、経済の好循環を起動させ、自律的な回復軌道にのせていくカギになる。

引き続き、生産性三原則にもとづく建設的な労使交渉を通じ成果の公正な配分をはかり、広く社会に波及させていく。春季生活闘争は、労働組合の存在意義をアピールできる場でもある。組織化と連動し、集団的労使関係を社会に拡げていく機会とする。

賃上げについての考え方

コロナ禍にあって、所定内賃金で生活できる水準を確保することの重要さが再認識された。また実質賃金の長期低下傾向を反転させるには、賃金水準を意識しながら全体で継続的に賃上げに取り組むことを強化する必要がある。とりわけ、中小企業や有期・短時間・契約等で働く者の賃金を「働きの価値に見合った水準」に引き上げることをめざし、「分配構造の転換につながり得る賃上げ」に取り組む重要性を認識しなければならない。

2022闘争は、すべての組合が月例賃金の改善にこだわり、それぞれの賃金水準を確認しながら、「底上げ」「底支え」「格差是正」の取り組みをより強力に推し進める。

具体的な要求目標

これまでの「底上げ」「底支え」「格差是正」の取り組みの考え方にもとづき、直近の調査結果等をみながら、賃金要求指標をパッケージで示す。

＜賃金要求指標パッケージ＞

底上げ	産業の「底支え」「格差是正」に寄与する「賃金水準追及」の取り組みを強化しつつ、これまで以上に賃上げを社会全体に波及させるため、それぞれの産業における最大限の「底上げ」に取り組む。賃上げ分 2 % 程度。定期昇給相当分（賃金カーブ維持相当分）を含め 4 % 程度の賃上げを目安とする。	
	規格間格差是正	
格差是正	目標水準	<ul style="list-style-type: none"> 昇給ルールを導入する。 昇給ルールを導入する場合は、勤続年数で賃金カーブを描くこととする。 水準については、「勤続 17 年相当で時給 1,750 円・月給 288,500 円以上」となる制度設計をめざす。 <p>35 歳 : 289,000 円 30 歳 : 259,000 円</p>
	最低到達水準	<p>35 歳 : 266,250 円 30 歳 : 243,750 円 企業内最低賃金協定 1,150 円以上</p> <p>企業内最低賃金協定 1,150 円</p>
底支え	<ul style="list-style-type: none"> 企業内のすべての労働者を対象に協定を締結する。 締結水準は、生活を賄う観点と初職に就く際の観点を重視し、「時給 1,150 円以上」をめざす。 	

すべての労働者の立場にたった働き方の改善

健康で働きづけられる労働時間と過労死ゼロの実現、「社会生活の時間」の充実を含めたワーク・ライフ・バランス社会の実現、個々人の状況やニーズにあった働き方と処遇のあり方など職場の基盤整備に向けて総合的な検討と協議を行う。

- (1)長時間労働の是正、(2)雇用安定
- (3)均等・均衡待遇、(4)60 歳以降の雇用と処遇
- (5)テレワーク導入、(6)人材育成と教育訓練の充実
- (7)中小企業などで働く労働者の退職給付制度の整備
- (8)障がい者雇用
- (9)短時間労働者の被用者保険の適用拡大
- (10)治療と仕事の両立の推進

青年委員会「若年層の絆深める」、女性委員会「ジェンダー平等社会をめざす」

2022年度活動方針などを確認 両委員会が定期総会開く

連合栃木青年委員会と女性委員会は昨年12月11日、宇都宮市内でそれぞれ定期総会を開催し、2022年度の活動方針や役員体制などを決定した。

青年委員会総会では、若年層の絆を深め、リーダーの育成や新しい生活様式を順守した活動運営に取り組むとした2022年度活動方針を確認。主な役員人事では、谷黒龍二委員長が退任し、新たに岩崎諭委員長を選出した。



▲青年委員会新旧役員の皆さん（前列左から三人目は岩崎委員長）

2022年度青年委員会役員

役職	氏名	構成組織
委員長	岩崎 諭	森林労連
副委員長	平石 健一	自治労
副委員長	羽布津 章義	電機連合
事務局長	小倉 弘哲	全電線
幹事	青木 雅弘	自動車総連
幹事	中山 貴生	自治労
幹事	石川 佳則	UAゼンセン
幹事	塚原 美臣	J A M
幹事	齋藤 捺	J P 労組
幹事	高松 昭記	電力総連
幹事	井野 直樹	全電線
幹事	岡田 卓也	私鉄総連
幹事	高橋 由樹	フード連合
幹事	高妻 貴道	J E C 連合
幹事	中野 晋吾	J R 総連

女性委員会総会では、ジェンダー平等社会確立に向けた諸課題を改善する取り組みや女性のネットワークをつくるとした活動方針を確認した。

井田治美委員長は、「働く女性は、二刀流どころか、三刀流、四刀流の方も多い。みんなが働きやすく、活躍できる社会をめざしたい」と挨拶した。



▲女性委員会新旧役員の皆さん（前列中央は井田委員長）

2022年度女性委員会役員

役職	氏名	構成組織
委員長	井田 治美	電機連合
副委員長	青柳 千穂	自治労
事務局長	高橋 愛子	森林労連
事務局次長	安發 敦子	連合栃木
幹事	高田 美恵子	自動車総連
幹事	阿見 暢子	UAゼンセン
幹事	丹 和子	電機連合
幹事	田中 明子	J P 労組
幹事	櫻井 満香	J P 労組
幹事	内藤 直子	電力総連
幹事	小池 貴美江	情報労連
幹事	鈴木 聖子	私鉄総連
顧問	篠原 裕子	自動車総連

全国一斉行動、一斉配信で力を結集！

“2022連合アクション”を展開

連合は政策実現や世論形成をはかるため、リアルとオンラインを融合させた参加型の社会運動「連合アクション」を2022年度も継続させる。毎月5日を「連合の日」として、フェイスブックやツイキャスでテーマごとに共感を得られる発信を全国一斉（連合本部・地方連合・地域協議会）で行い、運動の結果を可視化し、参加につなげていく。



▲JR宇都宮駅前で行った「連合の日」街頭行動 /2021年12月6日

ツイキャス「あつまれ！ユニオンスクエア」
URL: <https://ja.twimgcasting.tv/unionon>



職場の悩み（ハラスメント、解雇、年次有給休暇、最低賃金）や各種相談など人工知能（AI）が15言語・24時間365日対応します。



労働相談チャットボット 「ゆにボ」



暮らしに関する アンケート WEBもOK! ご協力のお願い



アンケート回答先
QRコード



- ▶スマートフォン、タブレットなどでアンケート回答先にアクセスし、お答えください。（連合栃木HPからも可）
- ▶アンケート用紙で回答することもできます。お気軽に事務局までお問合せ下さい。

なんでも 法律相談室

電話番号 **0120-190-537**
フリーダイヤル

開設日 毎月5日・15日・25日／13:30～16:30
(年末年始GWお盆は除く)
事前予約が必要です。相談は無料です。相談時間は30分となります。面談相談も可能です。

要求実現へ意思結集しよう！

連合栃木 2022春闘総決起集会

●2月5日(土)10時●宇都宮市オリオンスクエア

本年もよろしくお願い申し上げます
令和四年 元日

あけまして
おめでとうございます



中央労働金庫 栃木県本部 TEL: 028-622-4296 (2022年1月1日現在)

 再生紙70%を使用しています。
1部15円（会員の購読料は会費の中に含む）



こくみん共済

個人定期生命共済・こども定期生命共済・賃年定期生命共済・傷害共済・個人賃借責任共済・建身生命共済・個人長期生命共済

謹賀新年



公式キャラクター
ピットくん

職域推進一課 Tel 028-634-1790

職域推進二課 Tel 028-634-1790

職域推進三課 Tel 028-634-1790

職域推進四課 Tel 0285-22-6041

受付時間 9:00～17:00 (土・日・祝・年末年始を除く)

こくみん共済
全国労働者共済生活協同組合連合会

こくみん共済 coop <全労済> 栃木推進本部
(栃木県労働者共済生活協同組合)

0921Z016